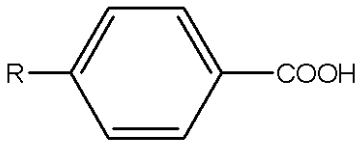
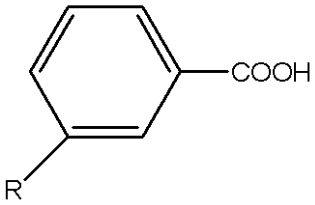
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

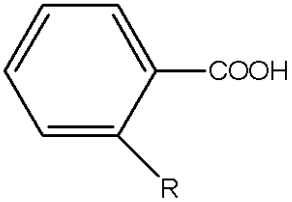
【公開番号】特開2002-356622(P2002-356622A)
【公開日】平成14年12月13日(2002.12.13)
【出願番号】特願2001-402632(P2001-402632)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｌ 101/00
　Ｂ６０Ｃ　 1/00
　Ｃ０８Ｋ　 5/098
　Ｃ０８Ｋ　 5/315
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｌ 101/00
　Ｂ６０Ｃ　 1/00　　Ｚ
　Ｃ０８Ｋ　 5/098
　Ｃ０８Ｋ　 5/315

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月13日(2004.12.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ゴム製品の少なくとも一つの感応帯を酸化から保護する為にゴム製品に対する外部酸素を捕捉する為に用意された少なくとも一つの緩衝帯を含むタイプのゴム製品であって、前記それぞれの緩衝帯が、組成物における酸化を活性化させる為に用意された、少なくとも一種の鉄（ＩＩＩ）塩を含む少なくとも一種のエラストマーをベースとした組成物を含み、前記塩が芳香族モノカルボン酸の鉄（ＩＩＩ）塩であり、前記酸が、置換されていてもいなくても良い一以上の芳香族環を含み、以下の一般式の何れか一つを有する事を特徴とするゴム製品。

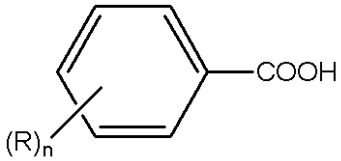
【化１】

A：

B：

C：

及びD：



（ここで、ｎは、１～５の整数であり、式Ａ、Ｂ及びＣでは、Ｒは、水素原子、１～８個の炭素原子を有し、置換されていてもいなくても良いアルキル基、アルコキシ基又はシアノ基であり、式Ｄでは、Ｒは、６～１０個の炭素原子を有し、置換されていてもいなくても良いアリール基である）。

【請求項２】

前記酸が、ｐ－シアノ安息香酸の様なシアノ安息香酸である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項３】

前記酸が、安息香酸又はｐ－ブチル安息香酸の様なアルキル安息香酸である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項４】

前記酸が、ｐ－トルイル、ｍ－トルイル又はｏ－トルイル酸の様なトルイル酸である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項５】

前記酸が、メトキシ安息香酸の様なアルコキシ安息香酸である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項６】

前記酸がナフトエ酸である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項７】

前記組成物中の前記鉄（ＩＩＩ）塩の量が、鉄当量の０．０１～０．０３ｐｈｒの範囲である、請求項１に記載のゴム製品。

【請求項８】

請求項１～７の何れか一項に記載のゴム製品から成る事を特徴とするタイヤカバー。

【請求項９】

前記タイヤカバーが、内部ゴム、一つのビードワイヤーから別のビードワイヤーへ延びるカーカスプライ、クラウンプライ、少なくとも一つのビードワイヤーを含むビードで終わる側壁及びトレッドを含むタイヤのタイヤカバーである請求項８に記載のタイヤカバーであって、前記組成物を含む前記それぞれの緩衝帯が、少なくとも一つの以下の位置を占めるタイヤカバー。

１）前記内部ゴムの内側に放射状に、前記ゴムと前記カーカスプライとの間、前記カーカ

スプライと前記クラウンプライとの間、前記クラウンプライと前記トレッドとの間、前記カーカスプライと前記側壁との間、前記側壁の内側或いは外側、及び／又は前記トレッドの内側或いは外側。

【請求項１０】

請求項９に記載の頑丈なタイヤカバーであって、前記組成物を含む前記それぞれの緩衝帯が、前記内部ゴムと前記カーカスプライとの間に設けられた強化エラストマー層内に配置されているタイヤカバー。

【請求項１１】

請求項１～７の何れか一項に記載のゴム製品の製造方法であって、前記鉄（ＩＩＩ）塩を、前記組成物に含まれるエラストマー中に機械的作業によって混入して前記それぞれの緩衝帯を得る事を特徴とする方法。

【請求項１２】

前記製品が強化充填剤を含む請求項１１に記載のゴム製品の製造方法であって、前記鉄（ＩＩＩ）塩を、前記組成物を強化する為に用意された充填剤と同時に前記エラストマー中に混入する方法。

【請求項１３】

タイヤカバーのローリング抵抗を減少させる方法であって、前記タイヤカバーを構成するエラストマー中に、請求項１～７の何れか一項で定義された鉄（ＩＩＩ）塩を機械的作業によって混入する事を特徴とする方法。